

事業者等向け放課後等デイサービス評価表の集計結果(公表)

公表日

2024年 3月 19日

事業所名

さわやか愛の家ひた館

対象職員数:

5 名

回収数:

5 名

回収率:

100.0%

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善点	改善に向けた具体的な取り組み
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1	2		余分なものを整理整頓し、必要なスペース確保に努める。適宜必要な環境調整に努めて参ります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	1	1	3	前年度に比べて、利用児童が増えたこともあり、人員が足りていないと感じる	職員数と児童の人数、特性等を考慮し、必要に応じて人員確保を図っていきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置等バリアフリー化の配慮が適切にされているか	1	2	2		現在2階を使用する事はなく、今後も基本的に1階を使用するようにしていきます。使用する場合は、職員がつく事はもちろん注意喚起等の張り紙等の環境調整を行って参ります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	2	1	2		業務改善に関して意見交換を行うだけではなく、振り返りの時間も設けて参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	1		今回のアンケート結果を基に、業務改善案を作成し、対応を取っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2			今回のアンケートを公開して参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	2	外部評価を行っていない	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	2		評価方法の見直し、評価ツールの検討を行って参ります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				専門性を活かし、職員間でアドバイスできる様取り組んでまいります。

	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	1		個別における課題の設定を行いながら、それを職員間で共有できるようにして参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		専門職を含め、様々な職種の意見交換を行う機会がもっとあることで、集団個別の判断がより行える	職員間での情報共有を密に取りながら、支援方法に関しての意見交換を行って参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3		毎回は行えていない	朝のミーティング時等を利用して確認していくようにして参ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気づいた点等を共有しているか		4	1	必ず行えてはういない	終礼時に職員間でその日の支援内容に関して意見交換を行う時間を設けて参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	3	1		ガイドラインを適宜再確認しながら、活動、支援を行って参ります。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	1		専門職が意見を述べる機会は少ないと感じる。	児発管だけではなく、専門職員も参加できるような体制づくりを行って参ります。
関係機関や保護者	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1			職員が偏らないようにしながら送迎時に情報交換を密に行うようにして参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	3	現在、医療的ケア児の受け入れがない	受け入れの際には、主治医との密な連携を取って参ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	2		情報共有の為の会議や、実際に関学に行く機会を増やしていく

との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	現在のところ、対象者はいない。	今後対象者が居た場合、担当者会議などで情報収集に努めて参ります。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	1	他事業所に依頼して勉強会を行ったことはあるが、機会が少ない	研修の依頼を行い、スキルアップに努めて参ります。こども部会等への参加時に、部会を通して勉強会の実施等の提案を適宜行って参ります。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	現在そのような機会は少ない、公園等で交流する場合は何度かある。	イベントへ等を企画し、地域の方へ周知しながら交流が行える機会を作って参ります。	
関係機関や保護者との連携	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4		1	定期的に参加している。管理者が主である為、他のスタッフも参加する機会があれば地域の課題をより身近に感じられる利点があると思われる。	全スタッフが参加できる体制を整えて参ります。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		連絡帳、SNSでの情報交換は毎回行っている。	今後も継続して参ります。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	3	専門的なアドバイスのためにはスタッフのスキルアップが必要になると思われる。	定期的な勉強会や、各職員の見解をまとめて提示できるように話し合いの時間を増やして参ります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	3		契約時に説明は行っている。	お問い合わせがあった場合に迅速かつ丁寧にお伝えして参ります。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3		適切な助言が行えるように、職員の知識向上が必要	勉強会の頻度を増やしていくとともに、必要な内容を定めて参ります。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	1		今年度中に実施を予定しております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1			迅速かつ丁寧に対応して参ります。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		1		ひた館通信の発行とSNSでの発信は適宜行っている	今後も継続して参ります。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	1				今後も注意して参ります。
36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				視覚的な支援を提示しているが、上手くいかない場合もある為、様々な方法を模索していく必要がある	今後も様々な方法を用いながら、情報発信を行っていく	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2	活動時にわかりやすい媒体を使用して発信していく必要がある	今後もイベント等の発信を積極的に行って参ります。	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	1	3	訓練時に読み返すことはあるが、常に見ているわけではない	マニュアルの定期的な確認を訓練前だけではなく定期的に行って参ります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		定期的に実施している	今後も継続して参ります。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		適宜研修会は実施している	今後も継続して参ります。	
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	1	意見を出しながら、検討するようにルール作りをしている。委員会の設立、研修、マニュアル策定を行っている。今後も注意深く状況を煮ながら、適宜話し合いの場を設ける必要がある。	今後も継続して参ります。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか			3	2	現在、アレルギーのある児童がいない	必要に応じて対応して参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			3	2	ヒヤリハットがあがり、事例集もあるが、全員で見直す機会が少ない	作成した後の適宜見直す時間を増やして参ります。